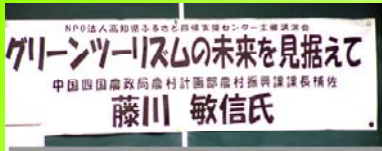


四万十川流域のグリーンツーリズムの未来は明るい！？



清流通信読者の皆様こんにちは！今全国各地でグリーン・ツーリズム等の取り組みが盛んに行われていますが、この四万十川流域でも例外ではありません。この2年間で何と約

20軒もの農家民宿や体験型施設のグループ等が新たに誕生しています。

そういった動きの中12月19日（水）に四万十町で中国四国農政局農林振興課の藤川敏信課長補佐による「グリーンツーリズムの未来を見据えて」と題して講演会が開催されました。主催はNPO法人高知県ふるさと回帰支援センター（山本晋平理事長（前高知大学長）平成17年設立）。

中国四国農政局のグリーンツーリズムの窓口を一手に引き受けて自分が講演で外へ出ているときは担当がいなくて問い合わせに答えることができないと軽く冗談を交えながら始まった藤川氏のお話ですが、全国で成功しているところは、高価でなくてもその土地でその時にしか食べられないものを提供しているなどといった事やマスコミをうまく利用する事、パンフレットも家屋だけでなく女性や子供の笑顔の写真を使って楽しさをアピールすることが大事などと熱のこもった口調でアドバイス。またグリーンツーリズムを成功させる秘訣として地域ぐるみで環境美化へ取り組むことや女性の感性が大事だと事例を交えて話していただきました。

講演の最後には国が来年度行う様々な補助事業の説明がありましたが、参加者から「子ども農村漁村交流プロジェクト」や「農村漁村地域力発掘支援モデル事業」の細かな内容について熱心な質問等があり時間一杯まで活発な質疑応答と意見交換が行われていました。

平日にもかかわらず四万十町内外から30名以上の参加者があり、グリーンツーリズムへの関心が益々高くなって来ていることを感じました。



↑会場は四万十町大正総合支所



↑熱弁する藤川氏



↑平日にもかかわらず沢山の人が！

トピックス

樵養成塾(入門編)&四万十の田舎暮らし体験塾の塾生を募集!

当財団では年明けの2月9日（土）～10日（日）1泊2日の日程で森林ボランティア養成講座「四万十樵養成塾・入門編」と3月1日（土）～2日（日）同じく1泊2日で四万十まるごと博物館モニターツアー・四万十の田舎暮らし体験塾を開催します。樵養成塾は本格的にチェーンソーを使って間伐する森林ボランティア養成講座で今回は入門編。また、田舎暮らし体験塾は「最後まで掘れるか!?山芋（自然薯）堀り」や「釜飯作り」などの体験メニューがある楽しいモニターツアー。いずれも定員は5名程度。実費（宿泊代と食事）と樵養成塾については別途参加費（調整中）が必要です。

近々詳しい内容をホームページに掲載しますが、先着順とさせていただきますので森林ボランティアや田舎暮らしに興味があって、まだ上記の日程に予定が入っていないという方は、とりあえず財団事務局、担当の山地までお電話下さい！！

近々詳しい内容をホームページに掲載しますが、先着順とさせていただきますので森林ボランティアや田舎暮らしに興味があって、まだ上記の日程に予定が入っていないという方は、とりあえず財団事務局、担当の山地までお電話下さい！！



↑※樵養成塾&田舎暮らし体験塾イメージ